投資信託ホームページのご案内

最新のマーケット情報、
ファンド情報を
確認できます。

確認

条件を指定して
ファンドを検索できます。

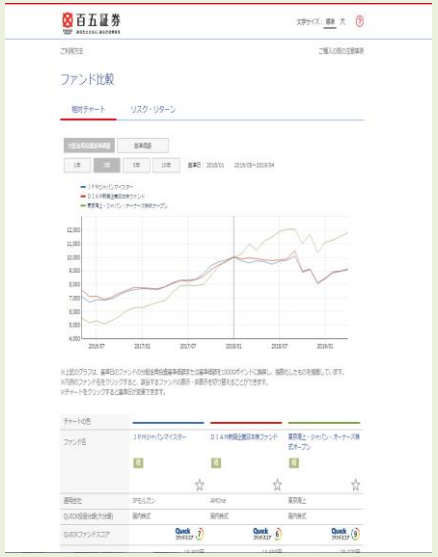
検索

知る

各ファンドのリターン
やリスク、コスト等が
確認できます。

比較

ファンドをチャートや
リスク等で比較できま
す。



並び替えてわかりやすく活用する！

基本情報・パフォーマンス・コスト・リスクリターンの**各項目を切り替えて**、希望に沿った商品を素早く探し出せます。

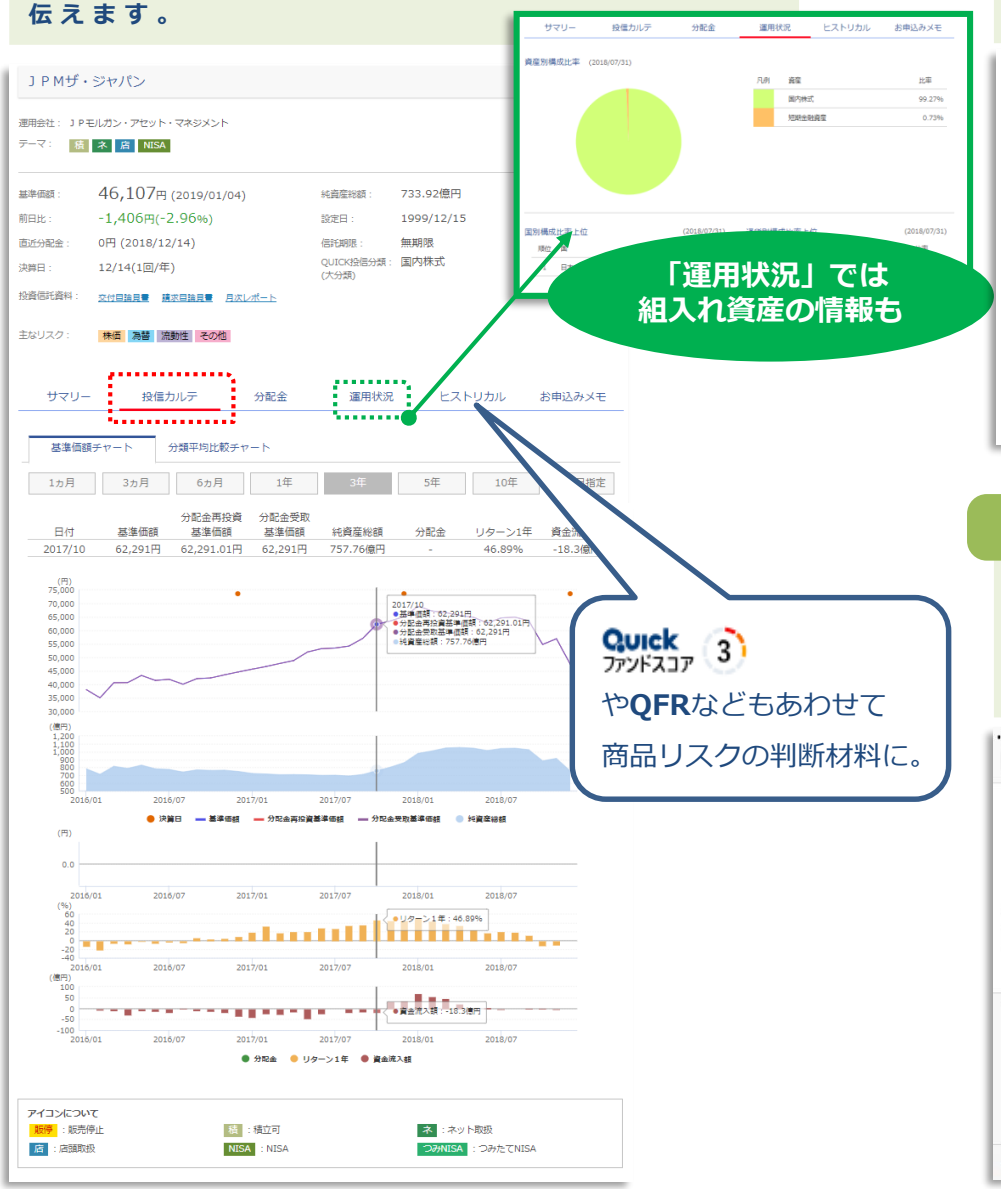
ランキングを活用する！

売れ筋やパフォーマンスを**ランキング**で確認ができ、特長に合わせて商品を探し出せます。

様々な切り口から商品を選べます。

投信カルテを活用する！

分配金とリターンの関係も一目瞭然。
組入れ資産の情報などファンドの動きを直感的に伝えます。



「運用状況」では
組入れ資産の情報も

Quick ファンドスコア 3
やQFRなどもあわせて
商品リスクの判断材料に。

「登録ファンド」を活用する！

気になる銘柄は登録ファンド一覧に登録して、
シンプルかつ分かりやすくウォッチできます。

スマートフォンで活用する！

スマートフォンに対応しているため、いつでも
各種情報を閲覧することができます。

ファンド検索「質問に答えて探す」を活用する！

投資の目的・目標に合ったファンドをかんたんな
質問に答えて探すことができます。

ファンド検索　質問に答えて探す

質問 1　投資の目的・目標にあったファンドで運用をしましょう。
今回のご資金はどのような目的の投資ですか？いちばん近いものをお選びください。

- ○ ある程度まとまったお金を将来のために殖やしたい

- ○ 殖えることを期待しながら、分配金は定期的に受け取りたい

質問 2　投資できる期間はおおよそ何年程度を想定されていますか。

○ 5年未満　○ 5～10年程度　○ 10～20年程度　○ 20年以上

質問 3　以下のグラフは100万円投資したとして1年後の期待イメージ値です。
実績からおよその最高・最低が予想できたとするとあなたならどのファンドを選びますか。

- ○ 運用商品A

- ○ 運用商品B

- ○ 運用商品C

- ○ 運用商品D

質問 4　どんなタイプのファンドに投資したいですか。

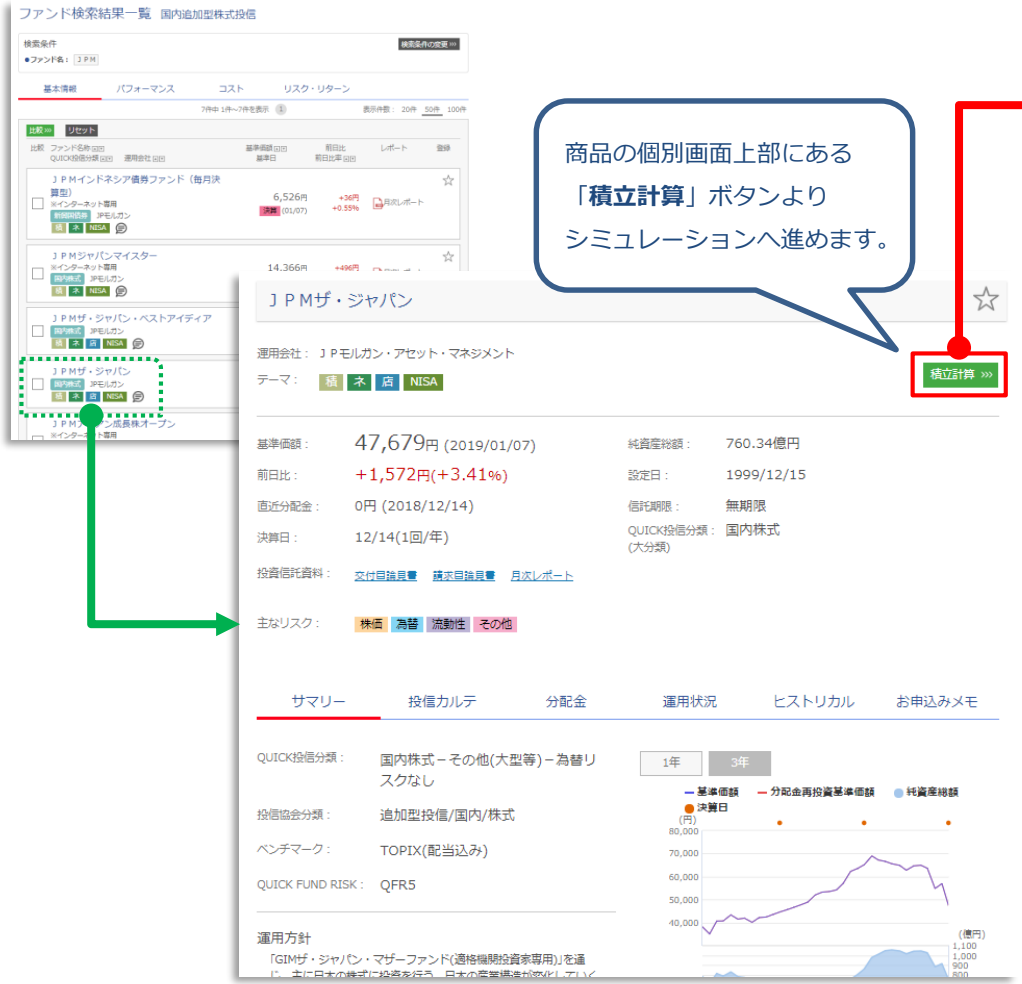
- ○ 投資国・地域を分散し複数の資産クラスに投資できるファンドを選びたい
- ○ 投資対象や運用手法など分かりやすいファンドを選びたい
- ○ 購入時手数料が無料のファンドに投資したい
- ○ 指定しない

選んだ質問の結果へ

アイコンについて
販停：販売停止　積：積立可　ネ：ネット取扱
店：店頭取扱　NISA：NISA　つみNISA：つみたてNISA

積立シミュレーションを活用する！

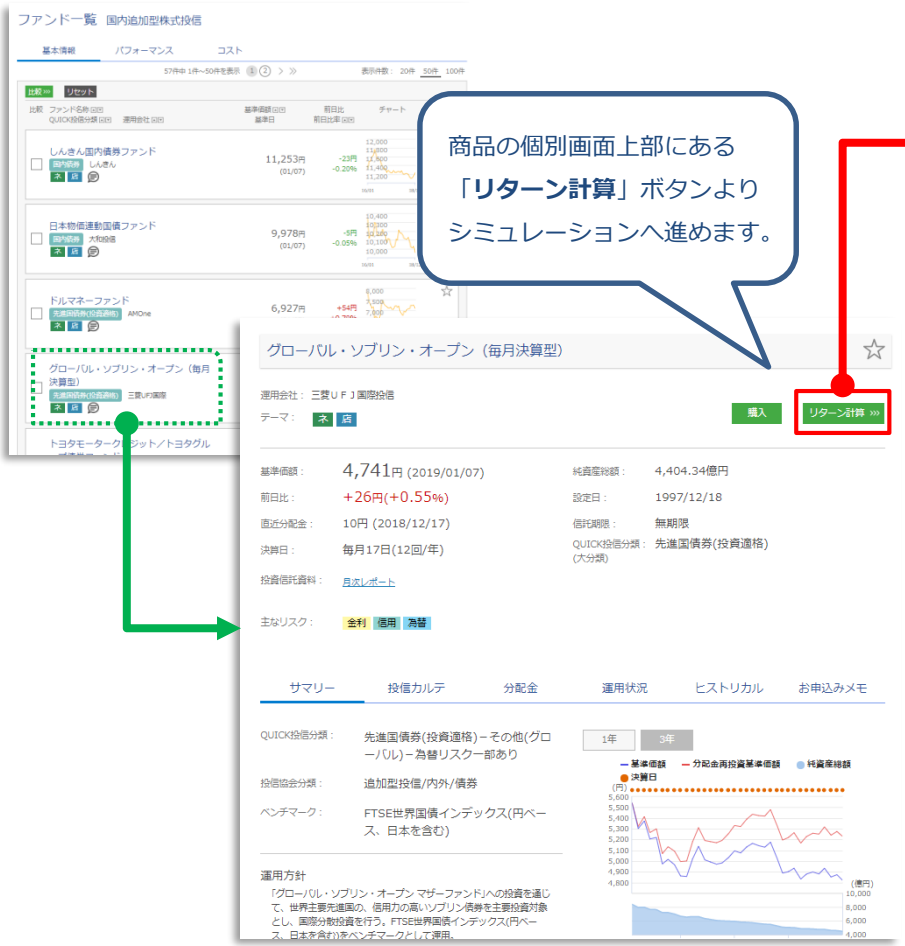
積み立て時のシミュレーションで、
より具体的に運用のイメージができます。



商品の個別画面上部にある
「**積立計算**」ボタンより
シミュレーションへ進めます。

リターン計算シミュレーションを活用する！

リターンのシミュレーションで、
より具体的に運用のイメージができます。



リターン計算シミュレーション

購入時の日付、金額を指定することで、実績データを使用して計算したリターンを確認できます。

ヘルプ　ご留意事項

ファンド　グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）

購入約定日（「～年前」または日付指定）、購入金額、手数料、分配金の扱いを指定できます。

購入約定日	○1年前 ○3年前 ●5年前	日付指定　入力例：20151031
購入時金額	100	万円
購入時手数料率(税抜)	1.5	%
分配金	○分配金受取 ●分配金再投資	

計算　リセット

シミュレーション結果 >>>>>>>

購入時		現在	
		評価金額	1,002,827 円
		受取分配金	0 円
		（普通分配金	0 円
		元本払戻金（特別分配金））	0 円
受渡代金	1,000,000 円		
手数料	15,505 円		
		損益	+2,827 円 (+0.28 %)

購入時基準価額 (2014/01/07)	基準価額 (2019/01/04)
5,394 円	4,715 円

※受取分配金には計算期間中の元本払戻金（特別分配金）が含まれます。
※分配金再投資で計算した場合、分配金は再投資され受取は行われないため、受取分配金は「0円」と表示しています。
※本計算は株式会社QUICKが行っています。上で表示される受取分配金、損益額、損益率等は概算結果であり、実際の取引の結果と異なる場合があります。

リターン計算シミュレーションヘルプ
シミュレーションのご留意事項

QUICKファンドスコアについて

QUICKファンドスコアは、追加型株式投信（ETF、ラップ・SMA専用などを除く）を対象に、個人投資家が長期で保有するのにふさわしい投信かどうかを10段階で評価した指標です。

相対評価でわかりやすい

対象ファンドの資産配分が同じ分類(※1)の中で相対的に評価し、10段階にランク分けしています。
スコアの数値が大きいほど同じ分類内で評価が高いことを示します。
中長期の運用では運用実績が長い投信の中から選ぶのが望ましいという考え方から、設定からの経過年数が長いファンドほど評価が高くなります。

総合スコア算出について

総合スコアは以下５つの項目で評価した上で算出しています。

① リスク（リスク水準の適正さ）
② リターン（過去の実績リターン）
③ 下値抵抗力（過去の基準価格の最大下落率）
④ コスト（投資家が払うコスト当たりリターン）
⑤ 分配金健全度（分配金に占める普通分配金の比率）

評価基準について

過年数が長いファンドほど評価が高くなります。
スコアは設定後３年（インデックス型は10年）以上経過した投信に付与しています。
スコアの見直しは毎月行われます。

（※1）
投信分類は、投資信託を投資対象の地域や資産などで区分したQUICK独自の「QUICK投信分類(大分類)」のうち、以下の15分類を使用しています。

国内株式、先進国株式、新興国株式、グローバル株式、国内債券、先進国債券(投資適格)、先進国債券(非投資適格)、先進国債券(格付混在)、新興国債券、グローバル債券、国内REIT、海外REIT、転換社債、コモディティ、バランス

QFR（QUICK FUND RISK）について

QFR（QUICK FUND RISK）は、投資信託の基準価格の変動の大きさを示す指標です。
価格変動幅（リスク）が最も小さいQFR１から、最も大きいQFR５＊まで６段階で示しています。

価格変動リスクがわかりやすい

QFRは、投資信託の価格変動リスク（過去の価格変動の度合い）をTOPIX（東証株価指数）との相対評価で示します。
国内株式投資の代表的な指標であるTOPIXの価格変動リスクと比較することで、個々の投資信託の価格変動の大きさが理解しやすいのが特徴です。

評価対象となる投資信託は？

TOPIXは「QFR3」に分類されますが、リスク値は「QFR3」と「QFR4」の境目に位置します。
評価対象となる投資信託は、4カ月以上(一部のファンドについて評価対象外となる場合があります）の運用実績のある追加型株式投信です。
QFRの見直しは、毎月行われます。

QFR1	TOPIXのリスク値の3分の1倍以下。
QFR2	TOPIXのリスク値の3分の1倍より大きく、3分の2倍以下。
QFR3	TOPIXのリスク値の3分の2倍より大きく、1倍(TOPIXと同じ)以下。
	↑　TOPIX　↓
QFR4	TOPIXのリスク値の1倍より大きく、3分の4倍以下。
QFR5	TOPIXのリスク値の3分の4倍より大きく、2倍以下。
QFR5*	TOPIXのリスク値の2倍より大きい。